

講座名	21年度前期 第4回 緑のおもしろ講座【柏】「たかが紙されど紙」		
開催日時	2021年 7月 18日(日)	10時00分	～ 14時30分
開催場所	柏市あけぼの山農業公園 本館研修室	一般参加者	10名

1. 紙の発明から現在の紙の用途までの歴史を日本史・世界史を交えて解説

- 紙は文化のバロメーターと言う事で、それぞれの地域文明のニーズが高まって紙の製造が広まっていった。つまり、文明・文化が紙の製造を欲していたといえる。

イスラム教のコーラン・
 キリスト教の聖書・仏教の経典
 政治の複雑化・律令制の導入・絵画・
 浮世絵・文学の発展



- 紙の伝播ルート 中国から朝鮮・日本ルート(和紙の源流)
 中国からイスラム圏・ヨーロッパ・アメリカ大陸・日本ルート(洋紙の流入)

2. 紙の定義。性質と用途別の樹種の違い

- 広葉樹と針葉樹の繊維の性質の違いを説明、ここからそれぞれの特性を活かして様々な用途に使用される。“書く・包む・拭く”の3大用途

3. 上記の説明を踏まえ、紙漉きを体験

- 針葉樹 100%・広葉樹 100%・古紙(コピー用紙に2色のマジックで落書き)の3種類のパルプからハガキ大の紙を漉いた。

合計4枚作成！(古紙から作った再生紙は色鮮やかで特に好評)

これが今日のメインイベントで、受講者皆さん年齢を忘れて紙漉きに没頭出来た。

4. まとめとして、紙と環境問題について解説

紙は木を育てるところから始まる時間のかかる製品(50年掛けてやっと紙が出来る)なので大切に扱って欲しい。リサイクルする事により、省資源化温暖ガスの減少に役立つので、分別回収が大事。

併せて、紙は水を大量に使うが、これも何度も回収して利用している。水も資源の一つなので大切に。

WEBカメラを使って作業手順説明



葉っぱの漉き込みにも挑戦！



紙漉き作業風景



F I C 講師 板倉 完次